

薬のチェック

No.85
Vol. 19

Sep. 2019

2019年9月号（No85）の記事要旨と参考文献

参考文献はアクセスが容易になるように、できる限りネットへのリンクをつけたものにしています
(特に PubMed アブストラクトへリンクできるよう)

高血圧ガイドライン 2019 の科学的根拠は希薄 降圧目標 130/80 未満は危険

慢性便秘症用剤 ラグノス NF 経口ゼリー 症例によっては有用

■ CONTENTS ■

Editorial

高血圧ガイドライン：作成委員自体に問題あり

99

New Products

成人慢性便秘症用剤 ラグノス NF 経口ゼリー

新たに適応を得たが、症例によっては有用

100

C型肝炎用薬剤：薬価を下げるときだ !!

102

総 説

治療ガイドライン批判シリーズ（11）

高血圧ガイドライン 2019 の科学的根拠は希薄

104

130/80 未満を降圧目標とするのは危険

害 反 応

低用量ピルの害：うつ病と自殺

110

ACE 阻害剤は肺がんを増やすか？

111

連 載

コーヒー無礼区

103

薬剤師国家試験に挑戦しよう（問題）

103

薬剤師国家試験に挑戦しよう（正解と解説）

109

医薬品危険性情報あれこれ

113

患者用くすりの説明書 低用量ピル

114

避妊：アンジュ、トリキュラー

月経困難症：ジェミーナ配合剤

みんなのやさしい生命倫理 85 「生老病死」（55）

116

Others

FORUM 老健施設入居者の骨粗しょう症に、
どう対処すればよいのか？

118

アスピリンと PPI 併用と認知機能低下

119

次号予告／編集後記

120

表紙のことば：秋のお彼岸頃に咲く白花曼珠沙華。静かな佇まいの中にも、華やかさを感じさせます。

編集部
から

医学における利益相反 (conflict of interest : COI) は、製薬企業からの研究資金提供のような経済的な利益関係等によって、医学研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのでないかと第三者から懸念が表明されかねない状況を意味し、昨今では、利益相反に関する情報開示が厳しく求められるようになってきている。

また Editorial でも触れているように、ワセダクロニクルと医療ガバナンス研究所が共同で作成したマネーデータベースにより、大学教授など一部のオピニオン・リーダー的立場の医師に、企業から多額の資金が供与されていることが判明した。

国民皆保険制度のなかで医師は公的資源の使途を決定する立場にあり、製薬企業の影響を受けることなく公正に処方しなければならない。

では、何を手掛かりに処方設計すればよいのか。利益相反のない本誌のような情報源を基に意思決定してくれれば良いが、現実的には診療ガイドラインに大きな影響を受けている。そのガイドライン作成には、オピニオン・リーダー的立場の医師の発言力が影響し、そういった医師たちに多額の製薬マネーが流入している。このような状況が続いている限り、ガイドラインは製薬企業に忖度した内容になりがちであり、本誌もガイドライン批判を止めるわけにはいかない。ゆくゆくはバイアスのない内容でガイドラインが作成される状況に変わって欲しい。

本誌には製薬企業の広告がまったく載っていません。読者の購読料が本誌運営の支えです。同封の「継続のお願い」をお読みいただき、次年度もよろしくお願ひいたします。

P99 Free <https://www.npojip.org/chk/85-Editorial.pdf>

薬のチェック Editorial

高血圧ガイドライン：作成委員自身に問題あり

p 100-101

成人慢性便秘症用剤 ラグノス NF 経口ゼリー 症例によっては有用

中西 剛明

まとめ

- ラクツロース製剤ラグノス NF 経口ゼリーガ、既存の効能に加えて、成人の慢性便秘症を適応として承認・発売されました。
- 同じラクツロース製剤であるラグノスゼリーガ、高アンモニア血症に伴う精神神経障害、手指振戦、脳波異常に早くから広く使用されており、どんな害反応が出るかはよく知られています。腹痛以外に心配はありません。
- 排便効果はポリエチレングリコール（PEG）製剤のモビコールには劣りますが、下剤としての効果は十分です。薬価はセンナなど従来の下剤より高価です。
- 保険適応のないソルビトールが使われる透析患者における便秘への代替薬剤として、価値があります。

結論：症例を選んで使用すれば有用

キーワード：慢性便秘、ラクツロース、ラグノス NF 経口ゼリー、浸透圧下剤、透析患者

参考文献

- 1) 三和化学研究所、ラグノス®NF 経口ゼリ一分包 12 g インタビューフォーム
- 2) 佐々木一晃、便秘を自覚する若年女性に対する食物繊維の効果：臨床と研究 1998；75：98-102
- 3) 原博文、寒天の摂取が健常成人の排便及び便性に及ぼす影響：栄養学雑誌 2000；58(6): 239-248.
- 4) 安田能暢、浜六郎、慢性便秘症用剤 モビコール配合剤、薬のチェック、2019；19 (84) 76-78.
- 5) Alsalimy N, Efficacy and safety of laxatives for chronic constipation in long-term care settings: A. systematic review. J. Clin. Pharm. Ther. 2018 Oct ; 43 (5) :595-605.PMID:29885259
- 6) ラグノスNF経口ゼリー審査報告書
- 7) 日本小児科学会 カルニチン欠乏症の診断・治療指針 2018 P40
- 8) 森佳子ら、高アンモニア血症を呈した維持透析患者の2例：日本透析医学会雑誌 2012；45(Suppl.1) : 781.
- 9) Cost-effective treatment of constipation in the elderly: a randomized double-blind comparison of sorbitol and lactulose. Am J Med. 1990 Nov;89(5):597-601. PMID:2122724

p102-103

C型肝炎用薬剤：薬価を下げるときだ!!

Prescrire International 2018;27(199):p307 を翻訳

2015年頃にいわゆるC型肝炎に対する直接作用型抗ウイルス剤が発売されたとき、一部の利害関係者はこの疾患を根絶する手段としてそれらを称賛した[1]。それから数年が経ち、どのような状況になっているのであろうか。

キーワード：C型肝炎、ソホスブビル、ソバルデイ、ハーボニー、ジェネリック

参考文献

- 1) Jewell C “Gilead targets elimination of hepatitis C” WIPO magazine February 2017: 5 pages.
- 2) Prescrire Editorial Staff “Dare to refuse to pay the exorbitant price of Sovaldi!” Prescrire Int 2014; 23 (154): 278.
- 3) Staton T “Gilead’s John Martin scores ‘best CEO’ trophy for huge stock gains” 22 January 2015. www.fiercepharma.com accessed 29 June 2018: 1 page.
- 4) “Progress report on access to hepatitis C treatment” World Health Organisation March 2018: 68 pages.
- 5) Prescrire Rédaction “Une vaste épidémie d’hépatite C après traitement de masse” Rev Prescrire 2001; 21 (221): 707
P103.



晴れ女と気象病と星占い

大学のゼミの恩師が「僕は徹底したリアリストですが、君はリアリストとロマンチストとがない混ぜですね」とやや呆れ顔でおっしゃった。星座占いをすると話したからだ。かつて、あるフリーペーパーで星占いコーナーを担当する (さ)

薬剤師国家試験に挑戦しよう（問題） アナフィラキシーとアドレナリン注 p103
薬剤師国家試験に挑戦しよう（正解と解説） p109

P104-109

総説

2019年の年間テーマ：治療ガイドライン批判シリーズ（11）

高血圧ガイドライン2019の科学的根拠は希薄

130/80未満を降圧目標とするのは危険

薬のチェック編集委員会

まとめ

- 日本高血圧学会は2000年以来目標値としてきた血圧値130/85未満に根拠がなかったとして、2014年のガイドライン（2014GL）の改訂で140/90未満に変更しました。ところが、2019年4月に改訂したガイドライン（2019GL）ではさらに低い130/80未満に改め、130～139/80～89の人までも降圧剤使用の対象としました。
- 厳格降圧群（厳格群）と緩和降圧群（緩和群）を比較した19件のランダム化比較試験（RCT）を総合解析（メタ解析）した結果、心血管疾患の罹患と死亡が有意に減っていたことを変更の根拠としています。しかし、総死亡に有意の差はありませんでした。
- 19件すべてがプラセボ群のない、厳格群と緩和群との比較で、しかも非遮蔽試験です。これでは、どちらの群に割り振られたかを医師も患者も知っているので恣意的な操作が入りやすくなります。これはアウトカムの評価を判定者が遮蔽で判定しても限界があります。
- 厳格群に有利な背景因子をもつ試験が多く、最大の根拠となった試験で、報告に重大な矛盾がありました。ほとんどの試験が糖尿病や腎疾患にある人を対象としていました。したがって、2019GLの降圧目標は、一般的な高血圧の人には適用できません。
- 2014GLでは根拠の強さや推奨度をすべての臨床課題で記載していましたが、2019GLでは、根拠のない方法を、2014GLで根拠ありとして強く推奨された方法と同列に推奨しています。

結論：高血圧に関する2019ガイドラインは科学的根拠に基づいていない。従うと危険。

キーワード：高血圧、ガイドライン、降圧目標、推奨度、Minds 診療ガイドライン、GRADE、SPRINT、SPS3

参考文献

参考文献

- 1)編集委員会、総合検診は有効か、薬のチェック TIP 2018;18(76):28-31.
- 2)編集委員会、高血圧ガイドラインは病気づくりのガイドライン、薬のチェック TIP 2018;18(77):58-60
- 3)日本高血圧学会、高血圧治療ガイドライン 2014 電子版
https://www.jpnsh.jp/data/jsh2014/jsh2014v1_1.pdf
- 4)日本高血圧学会、高血圧治療ガイドライン 2019 ライフサイエンス出版㈱
- 5) Institute of Medicine (US) Committee on Standards for Developing Trustworthy Clinical Practice Guidelines. Institute of Medicine (IOM) 「Clinical Practice Guidelines We Can Trust: Washington (DC): [National Academies Press \(US\)](#); 2011. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK209539/>
- 6) 相原守男、Guyatt G, Falck-Ytter, 浜六郎、GRADEシステム:エビデンスから推奨へ. TIP「正しい治療と薬の情報」2007; 22(8/9): 91-102.
- 7) 相原守男、診療ガイドラインのためのGRADEシステム第3版、中外医学社 2018
- 8)Minds 診療ガイドライン作成マニュアル（V2.0、2016年版）
http://minds4.jcqhc.or.jp/minds/guideline/pdf/manual_all_2.0.pdf
- 9)Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017年版
https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance_2017_0_h
- 10)篠原幸人ほか編、脳卒中合同ガイドライン委員会、脳卒中治療ガイドライン 2004、協和企画
- 11)中山健夫、ガイドラインの意義と作成手順、Nephrology Frontier 2012;11(2): 132-136
- 12) Hansson L, et al.; HOT Study Group. Effects of intensive blood pressure lowering and low-dose aspirin in patients with hypertension: principal results of the Hypertension Optimal Treatment (HOT) randomised trial. Lancet. 1998; 351: 1755-1762. PMID:9635947
- 13) 浜六郎、血圧を下げすぎると死亡がかえって増加する-HOT研究およびJATE研究より、TIP「正しい治療と薬の情報」2001; 16(6):55-58
- 14)SPRINT Research Group. A Randomized Trial of Intensive versus Standard Blood-Pressure Control. N Engl J Med. 2015; 373:2103-2116. PMID: 26551272
- 15) Whelton PK, et al. 2017 ACC/AHA/AAPA/ABC/ACPM/AGS/APhA/ASH/ASPC/NMA/PCNA Guideline for the Prevention, Detection, Evaluation, and Management of High Blood Pressure in Adults: A Report of the American College of Cardiology/American Heart Association Task Force on Clinical Practice Guidelines. Hypertension. 2018; 71: e13-e115. PMID: 2913356 (Erratum in Hypertension. 2018; 71: e140-e144. PMID: 29743247)
- 16) Williams B, et al.; Authors/Task Force Members.. 2018 ESC/ESH Guidelines for the management of arterial hypertension: The

- Task Force for the management of arterial hypertension of the European Society of Cardiology and the European Society of Hypertension: The Task Force for the management of arterial hypertension of the European Society of Cardiology and the European Society of Hypertension. *J Hypertens.* 2018; 36: 1953- 2041. PMID: 30234752
- 17) 梅村敏,2016年4月28日日本高血圧学会プレスセミナーでの発言、医療経済2019年6月1日号、p12-13より引用。
- 18)Sakima A, et al The Optimal Blood Pressure Targets for Patients with Hypertension: A Systematic Review and Meta-analysis. 2019 Apr;42(4):483-495. PMID:30948822
- 19)ISDB, Starting or strengthening a Drug Bulletin: a practical manual: Chapter 8 Reviewing a new drug: Is it a therapeutic advance?日本語訳：第8章：新規薬剤の批判的吟味:治療上の進歩はあるか TIP「正しい治療と薬の情報」2014; 29(3):33-43
- 20)Sipahi I, Debanne SM, Rowland DY et al. Angiotensin receptor blockade and risk of cancer: meta-analysis of randomised controlled trials. *Lancet Oncol.* 2010 Jul;11(7):627-36. PMID:20542468
- 21)浜六郎アンジオテンシン受容体拮抗剤（ARB）と癌・敗血症増加 TIP「正しい治療と薬の情報」2010; 25(7): 97-101
- 22) Veterans Administration Cooperative Study Group on Antihypertensive Agents. Effects of treatment on morbidity in hypertension: Results in patients with diastolic blood pressures averaging 115 through 129 mm Hg. *JAMA* 1967; 202:1028-1034,
- 23)Diao D, Wright JM, Cundiff DK, Gueyffier F. Pharmacotherapy for mild hypertension. Cochrane Database of Systematic Reviews 2012, Issue 8. Art. No.: CD006742
- 24)Nakamura H, et al (MEGA Study Group) [Primary prevention of cardiovascular disease with pravastatin in Japan \(MEGA Study\): a prospective randomised controlled trial.](#) *Lancet.* 2006 Sep 30;368(9542):1155-63. PMID: 17011942
- 25) 浜六郎、坂口啓子、プラバスタチン(メバロチン)は生存率を低下させる、TIP「正しい治療と薬の情報」2006; 21(8/9):84-86
- 26) Benavente OR, et al; SPS3 Study Group. Blood-pressure targets in patients with recent lacunar stroke: the SPS3 randomised trial *Lancet.* 2013; 382: 507-515. PMID: 23726159
- 27) Wei Y, et al. Effects of intensive antihypertensive treatment on Chinese hypertensive patients older than 70 years. *J Clin Hypertens(Greenwich).* 2013; 15: 420-427. PMID:23730991
- 28) 上島弘嗣ら, 1980年循環器基礎調査追跡調査報告書1995
- 29) 入江ふじこ他、健康管理への活用を目的とした基本健康診査成績による生命予後の検討、日本公衆衛生誌、2001; 48(2): 95-108.101.
- 30) 浜六郎、高血圧は薬で下げるな！角川新書、2005
- 31) Yamagishi K, Sawachi S, Tamakoshi A, Iso H; JACC Study Group. [Blood pressure levels and risk of cardiovascular disease mortality among Japanese men and women: the Japan Collaborative Cohort Study for Evaluation of Cancer Risk \(JACC Study\).](#) *J Hypertens.* 2019 Jul;37(7):1366-1371. PMID:30882600

P110-111

害反応

低用量ピルの害：うつ病と自殺

薬のチェック編集委員会

本誌84号では、低用量ピルの害作用として、血栓塞栓症と高血圧を重点的に取り上げました。今回は、低用量ピルなどホルモン避妊剤の精神面への影響を論じます。資料は自殺とうつ病に関するデンマークで実施されたコホート研究の結果です。

キーワード：低用量ピル、うつ病、自殺、自殺企図、自殺未遂、脳血流量、高血圧、血液凝固、コホート研究、エストロゲン、プロゲスチン

参考文献

- 1) 薬のチェック編集委員会、低用量ピル (OC・LEP)ガイドライン批判、薬のチェック 2019; 19(84): 83-88
- 2) Skovlund CW et al. Association of hormonal contraception with suicide attempts and suicides" Am J Psychiatry 2018;175(4):336-342), PMID:29145752

- 3) Skovlund CW et al. Association of hormonal contraception with depression JAMA Psychiatry 2016; 73(11): 1154-1162. PMID:27680324
- 4) Prescrire team. Hormonal contraception: depression and suicide. Prescrire International 2018; 27(199): 295.
- 5) Direk N, Koudstaal PJ, Hofman A, et al Cerebral hemodynamics and incident depression: the Rotterdam Study. Biol Psychiatry. 2012;72(4):318-23. PMID:22381733
- 6) 浜 六郎、私信

P111-112

ACE 阻害剤は肺がんを増やすか？ むしろ ARB の方が発症しやすいが…

浜 六郎

キーワード：肺がん、ACE 阻害剤、アンジオテンシン受容体拮抗剤、ARB、生存者バイアス、確認バイアス、検出バイアス

参考文献

- 1) Hicks BM, Filion KB, Yin H, Sakr L, Udell JA, Azoulay L. Angiotensin converting enzyme inhibitors and risk of lung cancer: population based cohort study. BMJ. 2018 Oct 24;363:k4209. PMID:30355745
<https://www.bmjjournals.org/content/363/bmj.k4209.long>
- 2) 新しい創傷治療、消毒とガーゼの撲滅を目指して、http://www.wound-treatment.jp/title_new_2018-11.htm
- 3) Straus MH. Rapid Response to ref 1. <https://www.bmjjournals.org/content/363/bmj.k4209/rr-12>
- 4) Sipahi I, Debanne SM, Rowland DY et al. Angiotensin-receptor blockade and risk of cancer: meta-analysis of randomised controlled trials. Lancet Oncol. 2010 Jul;11(7):627-36. PMID:20542468
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC4070221/>
- 5) 浜六郎アンジオテンシン受容体拮抗剤（ARB）と癌・敗血症増加 TIP「正しい治療と薬の情報」2010 : 25(7) : 97-101.
- 6) Micardis (Telmisartan) Cardiovascular and Renal Drugs Advisory Committee briefing document, July 29, 2009.
<http://klinikfarmakoloji.com/files/TELMISARTAN-FDA.pdf>
- 7) Dias CV et al. Rapid response to ref. 1. 20 December 2018 <https://www.bmjjournals.org/content/363/bmj.k4209/rr-14>
- 8) Hicks BM. Reply to rapid responses. <https://www.bmjjournals.org/content/363/bmj.k4209/rr-15>

P113



【英 MHRA】リリカなど：乱用・依存への規制強化

【カナダ Health Canada】フィナステリド：自殺関連リスクのレビュー

【WHO】レボフロキサシンによるミオクローヌス

【NZ MEDSAFE】リチウム：妊娠と先天性心疾患

患者用くすりの説明書

低用量ピル 避妊用

本誌の評価：限定使用

効能・効果：避妊

複数の配合剤があるが、最も安全な製剤を示す。

一般名（商品名）：レボノルゲスト렐とエチニルエストラジオールを組み合わせた配合剤

商品名：アンジュ 21/28、トリキュラー 21/28

用法：（1）21日間毎日服用し7日間服用を休み、29日目から2周期目に入る方法と、（2）飲み忘れ

の防止のために7日間の休薬期間中はホルモンを含まない錠剤（プラセボ錠）を飲む方法がある。29日目から2周期目に入るのは同じ。各製剤に21日用と28日用が用意されており、選ぶことができる。

価格：受診し医師の処方が必要。保険の適用はない。

月2000～2500円、年2.4万円～3万円くらい

規格（21日錠も28日錠も）：1錠あたり平均1日0.09mgのLと0.03mgのEEを含む。28日錠は、その上、飲み忘れ防止のために、ホルモン成分を含まない錠剤（プラセボ錠）7日分が追加されている。

どのようにくすり？

- ・低用量ピルは、多くの場合、卵胞ホルモン（エストロゲン）と黄体ホルモン（プロゲスチン）という2種

血栓症を起こしやすくなります。特に40代の人がピルの服用を10年間続けると74人に1人発症と高頻度です。

低用量ピル 月経困難症用

本誌の評価：限定使用

効能・効果：月経困難症

複数の配合剤があるが、最も安全な製剤を示す。

一般名（商品名）：レボノルゲスト렐とエチニルエストラジオールとの配合剤

商品名：ジェミーナ配合錠（黄体ホルモン製剤レボノルゲスト렐0.09mg、卵胞ホルモン製剤エチニルエストラジオール0.02mg）

用法：初めて服用する場合は、月経第1～5日目に

開始します。

1日1錠を毎日一定の時刻に21日間経口服用し、その後7日間休む。以上28日間を1周期とし、出血が終わっていても終わっていなくても29日目から次の周期の錠剤を服用するのを繰り返す。

ジェミーナ配合錠には、以下の服用方法もある。

1日1錠を毎日一定の時刻に77日間連続服用し、その後7日間休む。以上84日間を1周期とし、85日目から次の周期を開始し、以後同様に繰り返す。

価格：1錠314.1円。1周期（28日）3割自己負担の場合約1980円

どのようにくすり？

- ・避妊目的で使用する低用量ピルとほぼ同じ成分を含んでいて、排卵が起らないようにして子宮内膜の増殖を抑制し、月経困難症の症状を和らげます。

・機能性月経困難症の予防は、薬物に頼る前にまず、十分な休息と、睡眠剤に頼らない睡眠時間の確保や日頃から適度な運動をすることが重要です。

・食生活にも留意しましょう。プロスタグランジン

みんなのやさしい

生命倫理

85

生老病死 (55)

谷田憲俊

これまで、早産に伴う生命倫理的課題について主に蘇生に関連することをみてきました。今回は、満期出産時にもみられる課題を扱います。

モノ扱いされた新生児

子どもの同意と新生児医療の特異性
保護者としての役割の放棄（遺棄）
表：ベビー・ドゥ事例
治療を保留できる条件
根拠に基づいた医療（EBM）の重要性
おわりに

P118-120

FORUM

Q

老健施設入居者の骨粗しょう症に、どう対処すればよいのか？

老健施設に勤務している薬剤師です。老健施設基準では入所者 300 人に対して薬剤師は 1 人という規定で、経費節約のために薬剤師は

A

高齢者に骨粗しょう症の治療薬剤は不要
確かに悩ましいことでしょうが、結局は、本人のできる範囲で、運動し、身体を動かし、自分で食べ物を咀嚼し、食事をする、ということに尽きるのではないか。

Q

アスピリンと PPI 併用と認知機能低下について

本誌 82 号の総説「認知症疾患診療ガイドライン批判」で、プロトンポンプ阻害剤（PPI）が認知機能を低下させる（36 頁）、とありました。消化性潰瘍の治療などに PPI を使う場合は日数制限がありますが、低用量アスピリンを併用していたり、逆流性食道炎が再燃した場合での PPI 長期処方は頻繁にみられます。

A

個別に検討することが最善策

薬剤を使用したほうがよいかどうかを判断するためには、使用することで得られる利益と害が、その患者さんにとってどの程度かを検討する必要があります。今回の場合は、潰瘍

PPI の害：年齢が高くなるほど認知症発症の危険度が大きい

PPI の利益：薬剤性潰瘍の治療に有効

アスピリンの利益と害は？

PPI 併用について

参考文献

- 1) Tai SY et al. PLoS One. 2017; 12(2): e0171006.
- 2) Haenisch B et al. Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci. 2015; 265(5): 419-4281
- 3) Gomm W et al. JAMA Neurol. 2016; 73(4): 410-416.

- 4) Freedberg DE et al. Gastroenterology. 2017;152(4):706-715.
- 5) 日本消化器学会編、消化性潰瘍診療ガイドライン2015（改訂第2版）、南江堂、2015
- 6) Antithrombotic Trialists' Collaboration. BMJ. 2002; 324(7329): 71-86.
- 7) Sandercock PA, et al. Cochrane Database Syst Rev. 2014; (3): CD00029.
- 8) Li L et al. Lancet. 2017; 390(10093):490-499.
- 9) Lip GY, et al. Cochrane Database Syst Rev. 2011; (12): CD003186.



編集後記

★最近、便秘用新薬の紹介が続いた。作用機序が平明な薬剤は有用で、受容体を介するなど複雑な機序の薬剤は害反応など問題ありとまとめるのは単純化しすぎだろうか★今号の総説「高血圧ガイドライン批判」にはどう思われましたか。過剰な降圧は問題とする臨床試験結果が相次ぐと、さらに下げよとする臨床試験結果とそれを反映させたガイドラインが出る。この綱引きは今後も続くが、ますます強くなる製薬企業の圧力には医師や薬剤師の判断能力が頼りである★プロトンポンプ阻害薬が“胃薬”として使われ、高齢者に鉄欠乏性貧血その他副作用が多発している。観察研究では死亡率を高めている。その過剰使用に警鐘を鳴らしたい★C型肝炎に対する薬剤は有用だが、ウイルスを退治できたお陰で患者数が激減した。医療者側は“お客様”が減って厳しい状況にあり、一方で高齢者から保菌者を掘り起こし治療の対象にしている。医療福祉の意義について考えさせられる。（の）